

事業名：MEYASUBARCO．～市民×役所×企業＝無限の可能性～

【動機】・町の商店街が数年前から徐々に廃れてきていて、地方の地域に活気がなくなってしまっており、それにより雇用もなくなっているという負のスパイラルが形成されつつある。千葉県の前年度商店街実態調査速報の概要によると、「店舗数について回答のあった272 商店街の店舗数合計は11,555 店、このうち「大型店」が252 店（2.2%）、「チェーン店舗（大型店を除く）」が933店（8.1%）「それ以外」が10,370 店（89.7%）であった。・景況感については、「やや衰退している」と「衰退している」の合計は72.4%となり、「繁栄している」と「やや繁栄している」の合計（4.6%）を大きく上回っている。・「やや衰退している」と「衰退している」の合計（72.4%）は、前回調査（72.6%）とほぼ同じ割合であった。」とあるように、現状の悪い状態を維持しているのがやっただという様子が伺える。

・魚食は調理が難しいという先入観や子供たちが好んで食べないなどの理由から、魚食離れが進んでいる。

・地元の人々、役所の人々、企業の人々が意見交換をすることにより、新たな発見やアイデアが生まれ、より暮らしやすく、便利で充実した日々が送れる。

以上3点の理由から、これらの解決や提案することを目標とし、事業提案を行いたいと思う。

【事業の特徴、概要】

地域のBARを交流場所として、市民、役所、企業にとって物事を良い方向へ導く基点とする。商店街との連携を図り、食材を商店街のお店から買い、魚食を中心としたメニューを揃える。食材の購入店を公表するだけでなく、調理方法も示し、家庭で料理できる環境を整え、地域の商店街の活用を促進させる。

新規性・お店に関することは包み隠さずに公表する。交流の場所なので、利益追求は赤字が出ない程度に行うため。

・地域の商店街とお店のポイント制度を構築する。例えば、地域のお店で50円の買い物をすると1ポイントがもらえ、そのポイント数をお店で割り引いてもらえるというもの。

・土日に地元のアーティストにLIVEを行い、話題性を作り、メディアを活用する。（ドネーション方式でギャランティーの清算）

実現性・公共施設を改修し、お店をつくる。学校の合併で使用があまり有効的に行われていない施設があると思うので、その一室を活用することによって予算が抑えられる。

・商店街に協力を要請し、廃棄になりそうだけれども食べることに全く問題がない食材などを入手し、最初のうちは食材を集める。軌道に乗り始めたら、商店街のお店にとっても大切な顧客となることが出来ると思う。

競合性・居酒屋...お酒と食べ物を提供し、安価である。

- ・ B A R...お酒と出会いを提供する。

それぞれ、新規性に参照したことで差異化をして解決する。

成長性・交流の場は都道府県単位ではなく、市町村単位で発展させることができると思うので、フランチャーズによる展開ができると考えられ、十分に成長させることが可能だろう。

【年度別のアクションプラン】

初年度：お店作りや地域の商店街とのネットワーク作りを行う。宣伝をこの時期から早々に始め、地元の人々に認識してもらう。

二年度：開店。地域の商店街の人々を中心に割引券を配布し、出来るだけ多く顧客を集める。また、積極的に同窓会などを行う。

三年度：お客さんから改善点を聞き、よりオリジナル性の高いお店にしていく。

【財務計画】

1)利益計画：メインメニューに対する純利益は2割に設定し、お酒などの飲み物やサイドメニューに対する純利益は4割に設定する。(例)煮魚、焼き魚は200円、カクテルは300円とする。メインメニューとサイドメニューのセットなどを作り、利益が出やすいように考慮する。

2)資金計画：役所との交渉が資金計画の要となる。公共施設の改修が認められるならば、資金は少なくても済み、リスクも低くなる。また、ネットワーク作りや宣伝などに資金はかかるが、地域が限定されているため行動に委ねられる部分が大い。具体的には100万円あればお店を立ち上げられると考える。

3)長期計画：軌道に乗りはじめたら、ショーケースなどで自分のお店を作るシステムを構築したり、地元のグッズを置いたりしてB A Rと雑貨屋の融合を行い、利用料や手数料により利益を出す。また、フランチャーズとしてパッケージ化をして、全国への拡大を図る。

【事業課題】

- ・ 役所の協力が得られるかが大きなポイントになること

地域の活性化に絶対に不可欠になるということをアピールする

- ・ 人が集まり、交流の場所にすることができるのか

割引券の配布や新規性にあるアーティストのL I V E、同窓会の引き受けなどで存在を知ってもらい、リピートしてもらえようなお店作りをする。

【最終目標】

地域活性化によって、人々の生活がより良くなることである。

参考文献

千葉県 ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/>